

授業科目名	保育実習指導Ⅱ		担当教員名	森下 真由美
必修/選択	選択	開講学年・学期	3年 期間 (年間開講数 1講座)	
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位 (15時間)	
施行規則に定める科目区分等	保育実習	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。	
授業の概要及び全体目標	保育実習Ⅰをもとに、保育所実習のより高次の課題等を学ぶ。			
到達目標	(1)保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 (2)実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 (3)保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 (4)保育士の専門性と職業倫理について理解する。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする			
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 『月刊 保育とカリキュラム』(ひかりのくに) 『よくわかる保育所実習』(創成社) 新聞記事等			
成績評価の方法	平常点 (受講態度等) 20% 発表 40% 提出物 40%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	事前指導① 実習日誌の記入について 実習日誌記入方法の理解を深める			(1)
第2回	事前指導② 設定保育指導案作成 秋の保育実践について考える 個別援助①			(2)
第3回	事前指導③ 設定保育指導案 (グループワーク) 個別援助②			(2)
第4回	事前指導④ 設定保育指導案 (グループワーク) 個別援助③			(2)
第5回	事前指導⑤ 実習研究課題について 前回の実習より、それぞれの課題を明確にする 実習の意義、目的の確認、注意事項の確認			(1),(2),(4)
第6回	事後指導① 保育所保育の特性を確認する 実習配属年齢別グループ討議を通して振り返る			(3),(4),(5)
第7回	事後指導② 実習配属クラス別グループ発表 各保育所の保育実践より保育士の専門性について理解を深める			(3),(4),(5)
第8回	事後指導③ 保育実習の総括 保育所保育において大切にしたいことのみとめ 実習での学びを今後活かすには			(1),(4),(5)
定期試験	定期試験は実施しない			